

なかつ市議会だより

令和元年
9月議会

「なかつチャレンジユニバーシティ2019」事業



中津青年会議所主催の市内の高校生を対象とした「なかつチャレンジユニバーシティ2019」事業が行われました。

この事業は、高校生自身が中津市の課題解決について考え、行動してもらう機会を提供することにより、愛郷心の醸成及び0から1を生み出す創造性を持った人材の育成に役立てるものです。

6月16日のキックオフ事業に始まりフィールドワークやワークショップを重ね、8月4日に、市議会の議場においてプランコンテストが行われ、発想豊かで、大胆な政策プレゼンの発表が行われました。

10月6日には、事業の集大成として、提案する政策の更なるブラッシュアップを行い、発信事業として小幡記念図書館でプラン発表会が開催されました。

企画された中津青年会議所の皆さん、一生懸命に取り組んでいただいた高校生や先生、そしてアドバイザーの皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<http://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索

発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和元(2019)年11月15日

9月定例会 一般質問

◆令和元年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。



ちぎら たかゆき
千木良 孝之 ③
(新生・市民クラブ)

- ・防災危機管理課の取り組み
- ・下水道の取り組みについて
- ・映画館の進捗状況と今後
- ・大貞公園野球場の照明設置は
- ・市民プールの現状と今後

問 自主防災組織として、毎年活動報告を提出しているが、各組織へ勉強会等の情報として展開は。

答 学習会や防災講話、他の先進的な取組等を市報やHPなどで情報発信しており、各地区開催の防災訓練を他地区の防災士や自主防災組織の方々が見学し学べる取組を推進。今後共、他地域の取組を紹介し、防災意識の向上を図っていきます。

問 下水道計画区域の見直しにより、いつから浄化槽補助金対象区域が変わるのか。

答 事業認可区域の拡大と縮小に分けて検討を進めており、現在、見直しを行う予定の区域の線引き等、細かな作業に時間を要している状況で、遅くとも来年の上半期中を考えています。

問 「排水設備設置整備補助金」が、今年度末で終了するが、来年度からの補助金の考えは。

答 現在、補助金の効果を分析し、「第5次総合計画」に掲げた水洗化率の目標達成の為、もっとも効果的な方法を見極め判断したいと考えています。



あらかき ひろこ
荒木 ひろ子 ①
(日本共産党)

- ・横領事件の解決について
- ・高齢者の外出支援について
- ・保育の無償化に伴う給食費は無料に
- ・一人ひとりを大事にする教育を

問 遣い込まれた1300万円は、どこに消えたか。返済はあったか。市は、国・県に963万円市民の税金で代わって払い、肩の荷が降りたと思っているのではないか。市民への責任果たす市長の決意は。

答 現在まで返済はされていません。民事裁判で係争中ですが、しっかりと市の主張を行い損害が出ない様に努めていきたいと考えています。市としては、取るべき措置を取っており、現在は司直の段階になっているという事です。

問 市内の小規模校では、養護教諭の在籍は週一日、複式学級は5校あります。せめて養護教諭は全学校に、複式学級に補助員の配置で、一人ひとりの子どもに公平平等な学びの環境を保障すべきです。

答 教職員の配置は法律に則って配置されています。養護教諭については3学級以上の学校に置き、2学級の学校への配置はないということです。しかし、学校の要望や近隣の学校の理解も得られ、兼務という形で週一日の勤務となっています。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信 ④
(清流会)

- ・民生委員児童委員が十分に活躍できる環境づくり
- ・学校運営協議会の取り組みについて

問 困りごとを抱えている世帯などの情報について具体的などのような内容を提供しているか。

答 提供情報内容は、氏名、性別、生年月日、住所、障がいの種類、要介護度、世帯構成などです。

問 対応が難しい事案や緊急時の市の支援体制は。

答 対応が難しい事案は、相談があれば担当課が必要なサポートを適宜行っています。また、緊急時は、土日夜間も含め担当職員に連絡が取れるようにしています。

問 学校運営協議会に期待する効果は。

答 学校と地域の熟議の場が増えコミュニケーションが深まること、連携が組織的・継続的になり子どもたちの健全育成等が期待できます。

問 今後の進め方は。

答 今津校区の運営や効果・課題等を検証しながら他校区においても各地域の力を有効に生かした設置を今後進めていく予定です。



すが かなこ
須賀 要子 ②
(新生・市民クラブ)

- ・持続可能な循環型社会にむけて
- ・民生児童委員への現状と今後に向けて

問 ごみ袋の有料化についての今後の方針は。

答 ごみ袋の有料化の検討を進めながら並行して「ごみ減量対策」の取組強化に努めたい。

問 現時点での取組内容では賛成できないが可燃ごみの45%を占める生ごみのたい肥化を行いゼロ・ウェイスト宣言を推進する考えはあるか。

答 *3R(スリーアール)活動を徹底していく中で先進地の環境行政への取り組みを参考に更なる環境づくりに努めます。

問 環境にやさしいお店への表彰制度導入を行ってはどうか。

答 表彰制度を実施する方向で取組み併せて加入促進にも努めます。

問 民生児童委員の担い手不足の今後の対応は。

答 地域福祉ネットワーク協議会を各地域で立上げ民生児童委員と連携して地域の新たなつながりを構築し、民生児童委員の円滑な活動と負担軽減を図ります。

語句の説明

*3R(スリーアール)活動とは、Reduce(ゴミなどを少なくすること)、Reuse(繰り返し使用すること)、Recycle(廃棄物などを再資源化すること)の3つのRの総称。



おお つか まさとし
大塚 正俊
(新生・市民クラブ) ⑦

- ・地方創生に向けて人口の推移と今後の予測
- ・日本遺産認定を地域の活性化につなげるために農家民泊の今後の展開

問 本耶馬溪、耶馬溪、山国町では年間2.5～3%も人口が減少しており、移住・定住対策を最優先とし、林業、果樹、ブランド農作物等の第1次産業の振興、*サテライトオフィスや*テレワーク、起業者の育成・誘致等が急務と考えますが如何ですか。

答 今後の過疎対策については、現在取り組んでいる様々な事業を継続・拡充させるとともに、様々な団体と協働でサテライトオフィス等、雇用を伴う移住・定住策についてさらに研究していきます。

問 農家民泊の開設に必要な初期投資に対する支援や農家民泊の広報をもっとすべきでは。

答 農家民泊施設の拡大に向けて、農家の負担の軽減を図る財政的支援に活用できる国や県の制度を調査・研究し、補助制度の整備を進めていくよう考えています。広報については、観光協会と連携しながら、農家民泊の施設に宿泊したい方が情報を得やすいようなインターネットによる発信に今後も努めていきたいと考えています。



みえの たまえ
三重野 玉江
(清流会) ⑤

- ・東本町中殿町のムクドリ現状について
- ・学校施設の老朽化
- ・熱中症対策について
- ・運転免許証自主返納支援は

問 夕方から朝にかけてムクドリの糞と騒音で近隣施設や住民が悩まされている現状について。

答 ムクドリの集団化については、これまで全国多くの都市でも苦慮している問題であり、抜本的な解決方法が見つかっていないのが現状。市民からの通報等に対しては、今後も関係部署と連携しながら対応していきたい。

問 豊陽中学校のテニスコートの水はけの悪さやコートのかぼみは改修できないか。

答 全体的に排水溝を塞いでいる土や側溝に溜まった土の除去を行って排水機能の回復を図り、定期的に側溝の清掃や状況確認をし学校側と相談しながら必要に応じて対応していきます。



みかみ ひでのり
三上 英範
(日本共産党) ⑧

- ・6月議会の答弁について
- ・同一箇所の災害復旧事業の負担金は先例に基づき減免を
- ・農林業基本の中山間地振興を
- ・福澤諭吉の歴史的役割は

問 職員不正事件で9,634千円支出し、市長は回収するというが、債権として管理されていないのでは。

答 収入未済として記載しており、その内容もきちんと管理しています。収入未済分は翌年度新たに調定を行い、しっかりと管理していきます。

問 平成19年度の市の災害復旧事業では同一箇所の負担金は、減免された。引き継ぐべきでは。

答 同一箇所の被災は、減免対象にならないと考えています。今後も、現条例に基づき対応します。

問 旧郡部の市道507kmの管理予算7,212千円、増額すべきでは。林道の維持管理には、監視員復活を。

答 林道の維持管理は、今後も市で巡視等を行い、適正な維持管理に努めます。

問 福澤諭吉の思想として、米独立宣言、西洋事情、学問のすすめの流れをもっと広めるべきでは。

答 福澤諭吉の偉業や教え、その生涯を市民に知らせる事は大切。学校や学校外の機会を利用して伝えていきたい。



かわうち やちよ
川内 八千代
(日本共産党) ⑥

- ・市職員による横領事件は市民に迷惑がかからない解決を
- ・小中学校の備品整備
- ・国民健康保険税引き上げ
- ・市民病院の受け入れ対応改善

問 市職員が横領した約1300万円の内、国県への返還約1000万円は市民の税金が使われている。裁判が始まっているので名前の公表を。市長の退職金の自主返納で税金の穴うめを考えるべきでは。

答 現時点においては刑事手続き上容疑者であり、今後の捜査に影響がある恐れが考えられることから、名前と本人を特定することに繋がる情報として地域名、団体名等は公表しないようにしています。取るべき措置を取っており、現在は司直、警察の段階になっているという事です。

問 小中学校の机、椅子が古くなって子どもが傷を負うと聞き議員団で調査。椅子の合板が劣化しているものも。教育備品の中でも机椅子は子どもは毎日使う物。必要数は最優先で整備すべき。

答 平成30年度以降、学校支援センターが学校の要望の調査や現地調査を行い予算要求し購入を行っています。転入生等で数が必要となった場合は随時把握して対応しています。

語句の説明

*サテライトオフィスとは、企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れたところに設置されたオフィスのこと。
*テレワークとは、情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態のこと。



よし むら なお ひさ
吉村 尚久
(新生・市民クラブ) ⑪

- ・環境整備や合理的配慮により社会的障壁を取り除き、誰にもやさしいまちづくりを
- ・一人ひとりが大切にされる特別支援学級の充実に向けて

問 障がい者差別に対する理解を進めるために障がい当事者を入れた職員研修を行うべきでは。

答 今年度計画している職員対象の手話研修会にはろう者にも入ってもらったり、来年度以降の合理的配慮の新人職員の研修には障がい者と意見交換をしたいと考えています。

問 障がい者に対する市民の理解をすすめるためのガイドブックを作成してはどうか。

答 「みんながともに暮らすための心づかいハンドブック」の改訂版として、障がい者にも参加してもらい、作成したいと考えています。

問 中津市職員採用試験（消防士）において、色覚特性を持っていたら合否に関係するのか。

答 色覚検査において異常と判断された者であっても、大半は支障なく業務を行うことが可能であることが明らかになってきており、合否に直結することはありません。



おお うち なお き
大内 直樹
(清流会) ⑨

- ・観光客誘致の取組について
- ・ふるさと納税の取組方について
- ・安心安全な地域づくりについて
- ・真夏の人工芝の低温やけど対策

問 中津市のラグビーW杯に合わせた観光客向けの取り組みは。

答 ラグビーW杯の開催に合わせて、9月より日本遺産のスポットを、英語ガイドが同行し、バスでめぐる中津駅発着のツアーを実施します。

問 ふるさと納税制度の6月改正以降の中津市の取り組み方や考え方について。

答 国から示された基準内で寄付者のニーズを考慮した返礼品や活用事業設定に努力していきます。

問 職員の安全運転意識の向上と防犯対策としての公用車へのドライブレコーダー導入は検討できないか。

答 今後更新していく公用車には順次導入していく予定です。

問 真夏の永添人工芝競技場の低温やけど対策は。

答 利用者や大会主催者に夏場の利用において低温やけどのリスクがあることの注意喚起及び対策の周知を図っていきます。



つね が しん た ろ う
恒賀 慎太郎
(創生なかつ) ⑫

- ・通学路の*グリーンベルト化の推進を
- ・ダイハツ九州アリーナ入口県道の信号を早期稼働すべき
- ・大貞運動公園の機能強化を

問 通学路の中でも歩道未設置エリアについては、グリーンベルト化を推進し、車両から歩行者の安全確保をすべきでは。

答 通学路安全確保対策会議による合同点検により、危険、要注意箇所の対策が必要な路線の検討を行います。歩道の用地取得が困難な場合にはグリーンベルトによる整備の検討を行いません。

問 信号が設置されて久しいが、早期稼働のための交差点改良事業の現況は。

答 交差点改良事業の用地取得状況としまして、全体の約90%が完了している状況です。取得完了次第優先的に事業を進めていきたいと考えます。

問 野球場南側の芝生広場では、グラウンド・ゴルフやウォーキング等多くの方が利用しているが、公園の機能強化の考えは。

答 大貞野球場南側の芝生広場を多くの方が楽しんで利用している現状は、把握しています。多目的に利用できるよう機能強化に努力します。



つみ よし おみ
角 祥臣
(前 進) ⑩

- ・西谷温泉の整備計画について
- ・洞門キャンプ場の施設整備は
- ・旧上津保育園跡地の利用計画
- ・今後のインバウンド対策と中津耶馬溪観光協会との連携は

問 約一年前に火災で喪失した茅葺き棟跡地の今後の利用計画と温泉・宿泊施設運営の方向性は。

答 跡地利用は官民対話型市場調査を行い広く意見を求め、検討していきます。また、既存施設の稼働率アップに取り組み経営の安定化を図ります。

問 洞門キャンプ場の施設利用客数が増えている中で利用者の声を反映すべき施設整備計画は。

答 トイレの改修を含め、今年度中に整備計画をたて利用者の満足度アップに取り組みます。

問 施設の管理実態はどのような形で行われているのか?今後の有効活用の方向性の考えは。

答 管理については年1回程度の草刈りをしています。今後の有効活用の方向性ですが、基本的には貸与、売却をする方向で考えています。

問 外国人観光客の誘致活動や観光協会との連携は。

答 今後は韓国、台湾以外に他のアジア諸国にもPRしたい。観光協会とは海外の商談会への参加や英語ガイドの育成を共同で行い連携を図る。

語句の説明

*グリーンベルトとは、幅の狭い道路で、路側帯の内外の区別を明確にする為に道路に施される緑色の塗装部分のこと。



本田 哲也 (15)
(ゆうき)

- ・中津市水道ビジョンについて
- ・サイクリングを活用した観光振興について
- ・農林水産業新規就業者受入環境(住居)の整備について

問 水道事業の浄水場施設改修計画は。

答 宮永浄水場は老朽化等により廃止し、代替機能を三口浄水場内に確保する。その際、平成大堰の水利権も活用しリスク軽減を図ります。

問 安心の新浄水システム(膜ろ過)の検討は。

答 膜ろ過は、コスト面で改善されつつあるので、施設更新の際には比較検討を考えています。

問 いつでも参加できる「御朱印帳」を使った観光型サイクルイベントの開催と地域連携は。

答 若い女性向けのアイデア。コース沿いの店舗や商工会、観光協会とも連携し検討したい。また、日本遺産「やばけい遊覧」に関する地域連携で、玖珠町まで自転車で巡るコースを設定したい。

問 県外からの新規就業者の住居環境整備は。

答 農林漁業の後継者対策として地域おこし協力隊募集の補正予算を提出しています。隊員の任期中(最長3年間)の住居等、市負担で提供します。漁業に置いては本制度をご活用いただきたい。



小住 利子 (13)
(公明党)

- ・*AEDについて
- ・教職員の働き方改革について
- ・障がい者(児)への支援について

問 学校の屋外に設置する考えについて。

答 AEDの利用の性質上、屋外用収納ボックスには施錠ができないため防犯上の観点からも設置していません。今後、国東市が全小中学校に屋外設置を検討していることですので、設置状況、運用状況等情報収集を行いたいと考えております。

問 教職員の時間外勤務の実態。

答 教育委員会としましては、先生方の勤務時間・実態の把握と健康管理を、月ごとに調査を行い、月の時間外勤務が80時間を超えた先生には、管理職から産業医への面談を勧めています。又、2回のストレス診断を行い心理的な負担の程度を把握し、働きやすい環境づくりに努めています。

問 相談窓口、相談ダイヤルの開設について。

答 教育福祉センター内の障がい者等基幹相談支援センター(いずみの園に委託)に障害に対する総合相談窓口を設置し、又、相談ダイヤルの一覧「豊の国こころのホットライン」を置いています。



草野 修一 (16)
(前 進)

- ・中津市版ふるさと創生について
- ・森林環境譲与税について

問 周辺地域の人口問題、経済問題、環境問題など地域の存続が危うくなっている今こそ、市民と行政が一体となって地域の持続を考える時ではないか。周辺地域が自らの力で地域づくりに取り組む政策を来年度の予算編成で検討はできないか、をお伺いします。

答 自らの力で持続できる地域づくりは、中津市全域に共通する目標ですが、それぞれの地域ごとの活用できる地域資源や特性、活動団体や人材などに違いがあります。今後とも、地域住民の声を聴き、地域住民が主体となった活動を支援するとともに各種施策を行ってまいります。

問 森林環境譲与税の用途についてお伺いします。

答 森林環境譲与税は、経営放棄された森林を市町村が所有者に代わり経営管理を行う制度の導入に伴い創設され、「森林の整備」「人材の育成・確保」「森林の公益的機能の普及啓発」「木材利用の促進」に関する施策に充てることとしています。



松葉 民雄 (14)
(公明党)

- ・森林環境譲与税について
- ・ドライブレコーダーについて
- ・河川・海的环境について
- ・キャッシュレス決済について
- ・マイナンバー制度について

問 経営や管理が適切に行われていない森林の規模は。

答 市内の民有林面積は約3万5千haで、そのうちスギやヒノキの人工林約1万4千haが、市が経営管理を行うべき可能性がある森林と考えています。

問 森林環境譲与税の活用方法について。

答 大きく4つあり、①森林の整備、②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、③森林の公益的機能に関する普及啓発、④木材利用の促進に関する施策に充てることとされています。

問 森林の境界確認に譲与税を活用できないか。

答 経営放棄された森林の整備に境界確認が必要である場合は、森林環境譲与税の活用も考えられます。

問 担い手の育成確保に地域おこし協力隊の活用は。

答 林業に取り組んでいただく「地域おこし協力隊」1人を募集するための補正予算を提出しています。

語句の説明

*AEDとは、心停止の際に機器が自動的に心電図の解析を行い、心室細動を検出した際は除細動を行う医療機器のこと。

令和元年第2回定例会の予定

11月	22日(金)	本会議「会期・議案上程」
12月	2日(月)	代表質問
	3日(火)	
	4日(水)	本会議「一般質問」(3日間)
	5日(木)	
	11日(水)	議案質疑
	12日(木)	
	13日(金)	常任委員会
	16日(月)	
	18日(水)	自由討議
	20日(金)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」

☆あなたも、議会を傍聴してみませんか。

本会議の傍聴は、事前の申し込みがなくてもいつでもできます。また、委員会は委員長の許可を得て、傍聴できます。一般質問は、議会ホームページのライブ、録画放映、ケーブルテレビの放映、図書館でのDVD貸し出しでご覧いただけます。本会議の議事録は、議会事務局・図書館でご覧になることができます。また、ホームページ上でも閲覧できます。ご利用ください。

☆手話通訳・要約筆記による傍聴を希望される方へ

本会議を傍聴される際、手話通訳および要約筆記による傍聴もご利用いただけます。事前に手話通訳者・要約筆記者を配置する必要がありますので、傍聴希望日の2日前（土日祝日を除く）までに「手話通訳・要約筆記者配置申込書」に必要事項を記入の上、議会事務局にご提出ください。

☆インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継

最新の録画を見る



よりご覧ください。

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

- お中元
- 初盆等のお供え
- 暑中見舞い状
- お祭りへの寄附
- お歳暮
- 年賀状 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

語句の説明

*リグニンとは、高等植物の木化に関与する高分子のフェノール性化合物のこと。



なかむら しょうじ
中村 詔治
(創生なかつ)

17

- ・産業の創出に向け「改質*リグニン」の調査研究を改質リグニンとは今後の取り組みは

問 改質リグニンの素材としての有望性や評価についてどのようにお考えかお伺いしたい。

答 近年、国の森林総合研究所などによる研究が進み、杉林から工業材料として性質をコントロールしながら取り出す新たな手法が開発され、この取り出されたリグニンが改質リグニンと呼ばれています。改質リグニンは熱加工が可能で、一度固めると高い耐熱性を示すようになり、新たな素材として大いに期待しているところですが、製造コストなど課題もあり、今後その動向を注視していきたいと考えています。

問 中山間地域の活性化と林業振興に改質リグニン関係の調査研究をするべきではないか。

答 市では、官民の研究者や民間企業の関係者で構成される「地域リグニン資源開発ネットワーク」や、大分県、国の機関と連携し、改質リグニンに関する最新の情報の入手や、情報交換などに努めていきたいと考えています。



たかの よしのぶ
高野 良信
(前 進)

18

- ・小学校の遊具の整備について
- ・公民館・コミュニティーセンターの収納について
- ・小学校の防犯カメラの設置について

問 学校遊具の今後の整備方針については。

答 学校現場ともよく協議を重ねながら必要な遊具の更新は、今後も計画的に行っていきます。

問 各公民館・コミュニティーセンターの収納スペースが不足している施設については、簡易型倉庫などの設置は検討できないか。

答 各公民館等の収納品、管理方法等を把握し、収納面積が適正規模かどうかを判断したうえで、収納スペースの確保に努めたいと考えます。

問 市内小学校における防犯カメラの設置状況は。学校施設に防犯カメラを設置することを考えなければならぬ時期と思うが如何か。

答 現在、未設置の状況です。また、学校の防犯対策は、保護者や地域、関係機関と連携した対策を行っております。なお、防犯カメラの設置については、その効果など総合的に勘案して考えていきたいと思っております。

9月議会で決まった内容

令和元年第2回定例会は、9月2日から9月30日までの29日間にわたり開催されました。内容としては条例関係議案13件、予算関係議案10件、その他の議案を3件、計26件を可決し、さらに、人事案件1件異議ない旨答申しました。また、意見書2件のうち1件を原案通り決定、1件を否決しました。なお、決算議案14件は閉会中の継続審査としました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。)

補正予算

◆令和元年度中津市一般会計補正予算(第3号)

- * 主な内容として幼児教育・保育の無償化に関する施策として、認可外保育施設の利用や、幼稚園等に通う園児が預かり保育サービスを利用する際の費用等について、一定の範囲で無償化する予算措置。
- * 今年度から新たに森林環境贈与税が配分されることに伴い、一旦全額を基金に積み立て、その資金を活用して行う森林整備や林業就業者の確保に係る経費。
- * 移住対策として、地域おこし協力隊活動事業において、一次産業の担い手を目指す隊員を新たに雇用するための経費。
- * 社会資本整備総合交付金等の国の補助事業について、本年度の交付決定に対応した事業費の増減や財源の調整など、所要の措置。

◆令和元年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和元年度中津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和元年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

◆令和元年度中津市小規模集合排水事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和元年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆令和元年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)

- * 放送関連機器の購入にかかる経費。

◆令和元年度中津市病院事業会計補正予算(第1号)

- * 消費税引き上げによる医療機器等の保守契約変更にかかる債務負担行為。

◆令和元年度中津市水道事業会計補正予算(第1号)

- * 主に施設の維持管理及び建設改良に係る経費。

◆令和元年度中津市下水道事業会計補正予算(第1号)

- * 主に施設の維持管理及び建設改良に係る経費。

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について

◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)

◆中津市国民保護計画の一部変更について

意見書

◆北朝鮮等の現実の安全保障上の脅威に対処するとともに、核兵器禁止の取り組みを強化することを求める意見書

以上1件の意見書は原案通り決定し、関係機関へ提出しました。

◆核兵器禁止条約への参加を求める意見書

以上1件の意見書は否決されました。

条 例

- ◆中津市税特別措置条例の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について
- ◆各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- ◆中津市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ◆幼稚園の設置に関する条例の一部改正について
* 子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、幼稚園教育に係る保育料を無償化するための条例改正
- ◆中津市保育の必要性の認定に関する条例の一部改正について
* 子育てのための施設等利用給付制度の創設のため、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、規定を整備するための条例改正
- ◆中津市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について

- ◆中津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市印鑑条例の一部改正について
* 用語等の見直し及び住民基本台帳法施行令の一部改正に伴う旧氏での印鑑登録等の対応を行うための条例改正。
- ◆中津市病院事業及び診療所事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市一般職の非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正について

人 事

- ◆中津市人権擁護委員候補者の推薦について

やす ひろ みつ お
安 廣 光 男 氏 (73歳) 中央町

※()内の年齢は議案提出時の年齢

その他

- ◆財産の取得について
- ◆市道の路線廃止について
- ◆市道の路線認定について

自由討議

- ◆民生児童委員のなり手不足の解消に向けて

- ①民生児童委員のなり手不足の要因
- ②なり手不足解消に向けた取り組み
(補足説明者：須賀 要子 議員)



- ◆高齢者・障がい者・交通弱者への外出支援の充実で、誰でも住み続けられる地域づくり

- ①誰が、どのような外出の困りごとを抱えているかの把握
- ②既存のしくみや制度を点検し、解決策を考える
- ③活用できる、人・モノ・お金の調査
- ④継続してできるようにする為の不安要素の解決
(補足説明者：荒木 ひろ子 議員)



以上2件について自由討議が行われました。